Jems News
No. 160
2026 年 11 月 5 日
日本環境変異原ゲノム学会
https://www.j-ems.org

＊＊＊＊＊＊＊＊＊　分科会・研究会情報　＊＊＊＊＊＊＊＊＊

JEMS・BMS研究会活動報告

■精度管理試験

第13回精度管理試験を以下のスケジュールで計画している．2026年に実施した第12回と同様に，標準5菌株に加えてTA97，TA97a，WP2*uvrA*/pKM101を含めた8菌株を対象とし，前培養条件を併せて収集する．

2027年 1月~2月：正式アナウンス，参加施設募集
3月~5月：データ収集
7月：集計結果の発表（第76回BMS定例会）

■共同研究

1) 3菌株（TA97，TA97a，WP2*uvrA*/pKM101）のAmes試験データの収集に関する共同研究

・第1回共同研究

論文化に向けた準備を進めており，現在，論文草案を作成中である．

・第2回共同研究

JEMS第55回大会（ポスター発表）において第2回共同研究の最終結論を報告予定であり，発表に向けた準備を進めている．

2) Ames試験菌株の全ゲノム解析に関するBMS pilot study

JEMS第54回大会で発表した「各施設におけるTA100株の感受性の違いについての一考察（BMS pilot study)」の研究内容を論文化するための準備を進めている．

■BMS研究会第75回定例会

MMS研究会第89回定例会と合同で開催する．9月に開催されたICEM/IWGTの報告を予定している．

日時：　2026年11月13日（金）16:00～18:00
場所：　星薬科大学 百年記念館 2階 講義室C21，C22
参加費：　無料
参加登録：　不要
世話人：　橋本清弘MMS会長（武田薬品工業株式会社），古濱彩子BMS会員（国立医薬品食品衛生研究所）

プログラム（予定）

16:00　開会の辞（藤本透BMS会長）
16:00-16:10　IWGT関連（杉山圭一BMS会員）
16:10-16:30　肝小核関連（濱田修一MMS会員）
16:30-16:50　ECS関連（鈴木孝昌MMS会員）
16:50-17:10　3D培養細胞関連（橋爪恒夫MMS会員）
17:10-17:30　ニトロソアミン関連（橋本清弘MMS会長）
17:30-17:45　QSAR1：(Q)SAR & QM Approaches関連（古濱彩子BMS会員）
17:45-18:00　QSAR2：Computational Toxicology, AI, and QSAR関連（澤田敏彦様）
18:00　閉会の辞（橋本清弘MMS会長）

（文責：BMS会長 藤本　透）

JEMS・MMS研究会活動報告

■MMS 研究会第 89 回定例会

日本環境変異原ゲノム学会 MMS 研究会の第 89 回定例会は，2026 年 11 月 13 日（金）に，BMS 研究会との合同開催を予定しています. 本定例会では, 2026年9月に開催されたICEM/IWGTの報告を中心に, 肝小核試験, Error-Corrected Sequencing（ECS), 3D 培養細胞, ニトロソアミン等に関する最新の研究動向について報告･討議する予定です. プログラムの詳細は BMS 研究会の活動報告をご覧ください.

■MMS 幹事会および今後の定例会について

春の定例会終了後，MMS 幹事会を開催し，第 89 回定例会のプログラムおよび第 90 回定例会の開催方法等について協議しました．事後アンケートの結果，春の定例会の開催方式については，「企業間交流の促進」「共同研究参加者との議論の深化」「若手・ベテランの接点形成」などの観点から，宿泊型（合宿型）開催の意義が今年度も高く評価されました．一方で，世話人の負担軽減や参加者の利便性も考慮し，宿泊型に加えて，一日完結型の定例会開催についても検討することとしました．

第 90 回春の定例会（2027 年春）については，一日完結型の定例会として，関東エリアでの開催を検討中です.

（文責：MMS 幹事 福田 隆之）

変異機構研究会　第37回夏の学校を開催しました

2026年8月30日（日）午後から31日（月）お昼までの2日間，変異機構研究会「第37回夏の学校」を，大阪府岬町の「淡輪（たんのわ）ハウス」で開催しました．

今回は，特別講演2題，一般演題17題，企業での研究活動を紹介する特別企画「企業研究者に聞く！」2題が行われ，多彩な分野の研究者・学生が最新の研究成果や経験を持ち寄りました．

参加者は，20代の学生から80代の名誉教授まで総勢41名．世代や所属を超えて活発な議論が繰り広げられ，会場のあちこちで新たなアイデアや共同研究のきっかけが生まれる，充実した2日間となりました．

夏の学校の魅力は，発表の時間だけではありません．夕食を挟みながら夜10時過ぎまで続いた研究発表の後は，恒例の「夜の部」．研究の話はもちろん，キャリアや研究生活についての率直な意見交換が行われ，気がつけば明け方まで語り合う参加者の姿も見られました．普段の学会ではなかなか得られない距離感で交流できるのも，「夏の学校」ならではの魅力となっています．

今年は2年ぶりの関西開催となりました．会場のある岬町は大阪府最南端に位置し，淡輪ハウスは海辺まで徒歩数分という恵まれた環境にあります．高台から感じる海風が心地よく，厳しい暑さの中でも市街地より過ごしやすい環境で，研究と交流に集中することができました．

ご講演・ご発表いただいた先生方，ご参加いただいた皆さまに心より御礼申し上げます．

来年の「第 38 回夏の学校」も 8-9 月頃の開催を予定しています．研究について深く語りたい方，世代や分野を超えた交流を楽しみたい方，そして新しい研究ネタを求めている方にぜひご参加いただきたいと思います．詳細は決定次第，JEMS ウェブページおよびメールマガジン等でお知らせいたします．



----------記----------

変異機構研究会「第 37 回夏の学校」開催の記録

日時：2026 年 8 月 30 日（日）13 時　～　8 月 31 日（月）12 時
場所：淡輪ハウス（〒599-0301 大阪府泉南郡岬町淡輪 830）

特別講演：

小野寺 威文　先生（微生物化学研究会微生物化学研究所沼津支所主任研究員）

「膵がんの低栄養ストレス環境への適応機構と脆弱性に基づく創薬研究」

日下部 将之　先生（神戸大学バイオシグナル総合研究センター助教）

「ヌクレオチド除去修復の損傷認識を制御するクロマチンダイナミクス」

特別企画（JEMS 連携企画）

「企業研究者に聞く！」

千葉 修一　先生（三栄源エフ・エフ・アイ株式会社　安全性科学部長）

西土井 悠作　先生（日本農薬株式会社　研究本部総合研究所安全性・薬理グループ）

企業研究者と研究職志望者の情報交換会

一般講演・総合討論

一般演題 17 題

参加者 41 名







以上

(文責：川西　優喜)